

《中国経済の未来と日中の新たな可能性》

2019年1月25日 BBLセミナー

周牧之

Zhou Muzhi

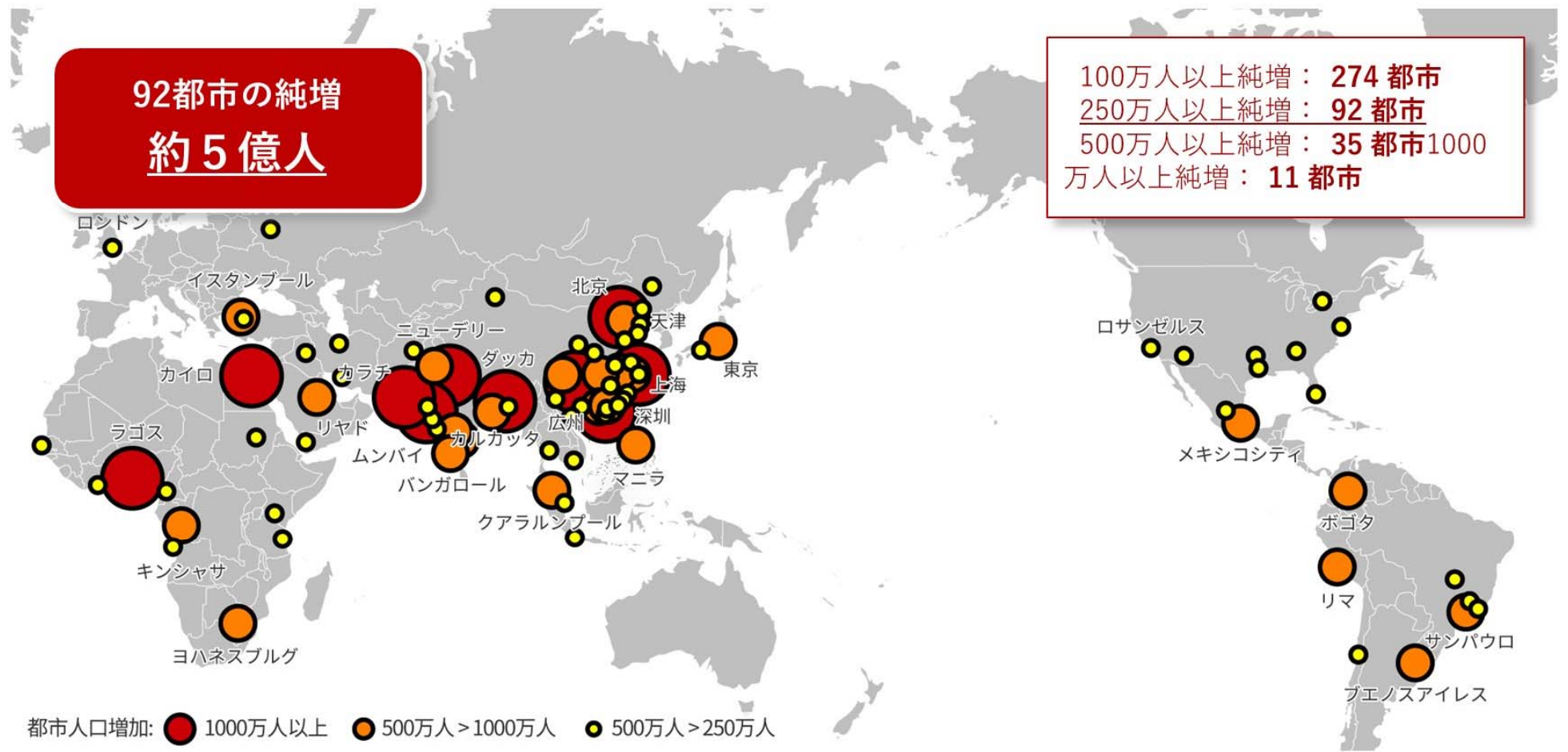
東京経済大学教授

Tokyo Keizai University Professor



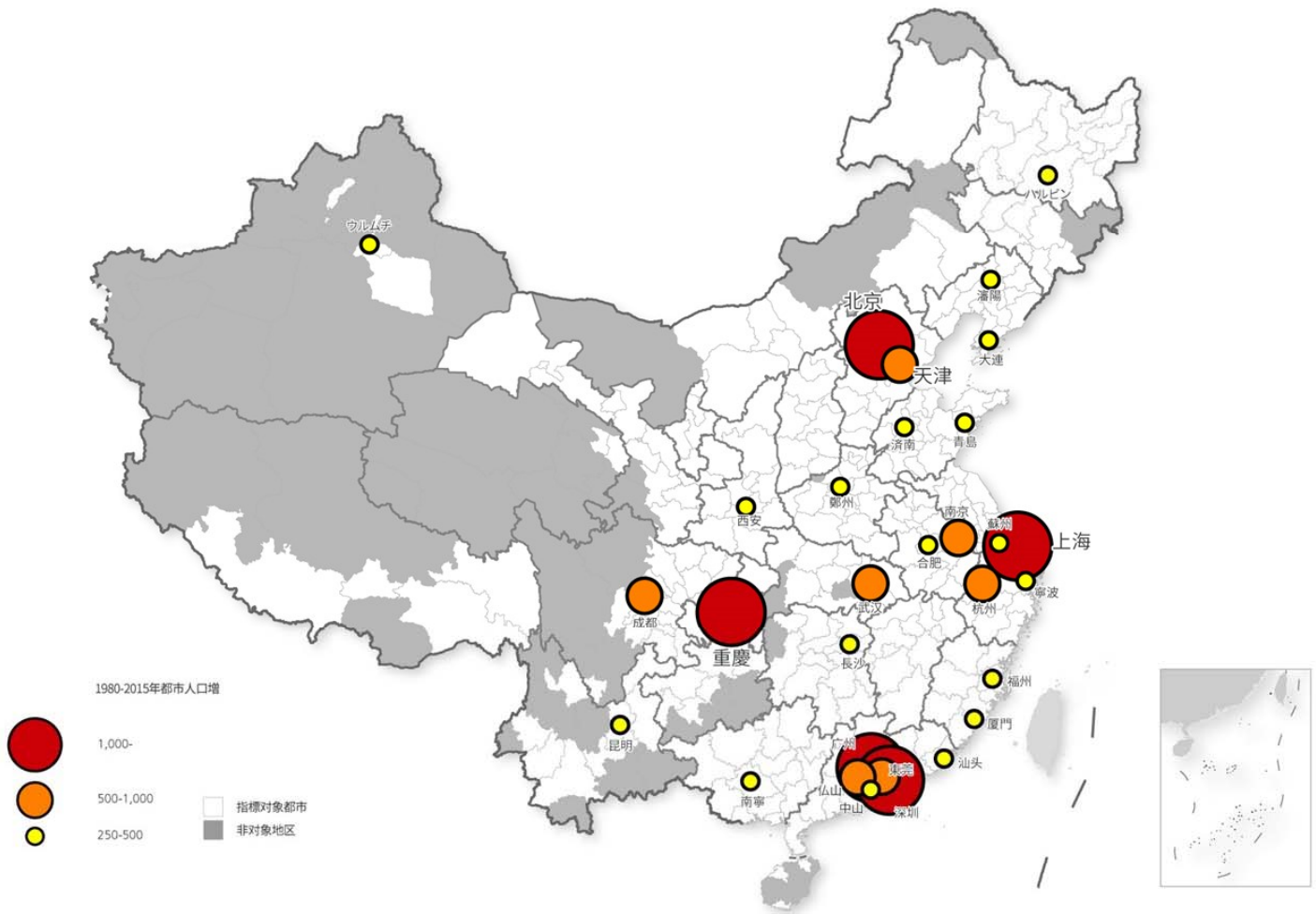
CLOUD RIVER

世界：250万人以上人口が増えた都市の分布（1980～2015年）



出典：国連経済社会局人口部『World Urbanization Prospects』などにより雲河都市研究院作成

中国：250万人以上人口が増えた都市の分布（1980～2015年）



100万人以上：72 都市
 250万人以上：30 都市
 500万人以上：12 都市
 1000万人以上：5 都市

指標	全国割合
GDP	39.2 %
貨物輸出	67.0 %
外国人旅行者	58.1 %
特許取得件数	56.4 %
メインボード(主板)市場上場企業数	66.3 %

戸籍のない常住人口
7千万人

出典：国連経済社会局人口部『World Urbanization Prospects』などにより雲河都市研究院作成



傅高义



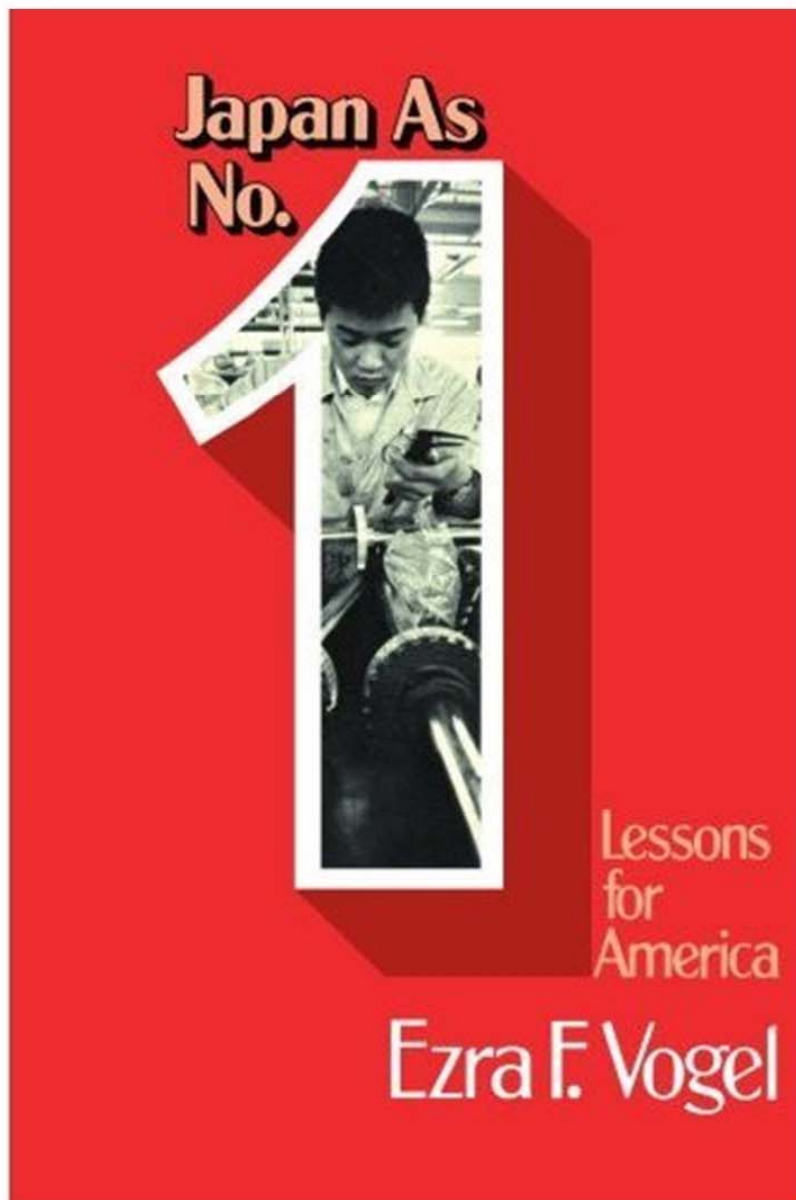
周牧之

哈佛大学教授傅高义 (Ezra F. Vogel) 是国际知名的东亚问题专家，曾任哈佛大学费正清东亚中心主任。他先在研究日本社会问题上赢得学术赞誉，后又着眼于中国问题，发表了一系列颇有影响的专著。傅高义教授曾任克林顿政府军事情报咨询顾问，他1997年曾促成前中国国家主席江泽民到访哈佛。在中美关系二十多年来每次遇阻的关键时刻，他都积极做工作并撰文为其平稳发展护航。他不仅是一位出色的思考者，也是一位高效的活动家。

不久前，《环球》杂志专栏作家、日本东京经济大学教授周牧之拜访了傅高义教授。出身经济学博士的周牧之教授是城市化问题研究的知名学者，但他的视野往往延伸至政经领域，并跨出日本区域，放眼整个东亚、亚太范畴。周牧之先生与傅高义教授就中美日三国关系，沿着从历史到今天的轨迹，置身东亚乃至整个世界发展的背景，进行了深入的对话。本刊将陆续发表两位专家的谈话，希望他们的真知灼见能够对读者有所启发。

东京经济大学教授周牧之与哈佛大学教授傅高义系列对话之一

美国对日中崛起的心态为何不同



iPadの衝撃



サリンジャー

ニュースウィーク日本版

定価 450円

Newsweek

http://newsweekjapan.jp

ジャパン・アズ・ナンバーズリー

中国が世界第2位の経済大国に
日中関係、日米関係はどう変わるのか



小沢は辞任すべきだ
トバイアス・ハリス

2010年10月12日
2・10



Japan As 'Number Three'

ジャパン・アズ・ナンバーズリー

対談 中国が世界第2位の経済大国に——環太平洋のパワーシフトは3国の関係をどう変えるのか

今 中国が世界第2位の経済大国に上りつめた。日本は「ジャパン・アズ・ナンバーズリー」の時代が到来した。環太平洋のパワーシフトは3国の関係をどう変えるのか。

【対談】中国が世界第2位の経済大国に——環太平洋のパワーシフトは3国の関係をどう変えるのか

中国13億人市場の厚みはアジアの覇権を握りつつある日本、アメリカ、中国の関係を劇的に変化させつつある。「ジャパン・アズ・ナンバーズリー」の著者エズラ・ボウガルが語る「日米中トライアングル」の将来像とは。

エズラ・ボウガル（以下、エズラ） 中国が世界第2位の経済大国に上りつめた。日本は「ジャパン・アズ・ナンバーズリー」の時代が到来した。環太平洋のパワーシフトは3国の関係をどう変えるのか。

トバイアス・ハリス（以下、トバイアス） 中国が世界第2位の経済大国に上りつめた。日本は「ジャパン・アズ・ナンバーズリー」の時代が到来した。環太平洋のパワーシフトは3国の関係をどう変えるのか。

エズラ 中国が世界第2位の経済大国に上りつめた。日本は「ジャパン・アズ・ナンバーズリー」の時代が到来した。環太平洋のパワーシフトは3国の関係をどう変えるのか。

トバイアス 中国が世界第2位の経済大国に上りつめた。日本は「ジャパン・アズ・ナンバーズリー」の時代が到来した。環太平洋のパワーシフトは3国の関係をどう変えるのか。

ASIA 中国が世界第2位の経済大国に上りつめた。日本は「ジャパン・アズ・ナンバーズリー」の時代が到来した。環太平洋のパワーシフトは3国の関係をどう変えるのか。

【対談】中国が世界第2位の経済大国に——環太平洋のパワーシフトは3国の関係をどう変えるのか

エズラ・ボウガル（以下、エズラ） 中国が世界第2位の経済大国に上りつめた。日本は「ジャパン・アズ・ナンバーズリー」の時代が到来した。環太平洋のパワーシフトは3国の関係をどう変えるのか。

トバイアス・ハリス（以下、トバイアス） 中国が世界第2位の経済大国に上りつめた。日本は「ジャパン・アズ・ナンバーズリー」の時代が到来した。環太平洋のパワーシフトは3国の関係をどう変えるのか。

エズラ 中国が世界第2位の経済大国に上りつめた。日本は「ジャパン・アズ・ナンバーズリー」の時代が到来した。環太平洋のパワーシフトは3国の関係をどう変えるのか。

トバイアス 中国が世界第2位の経済大国に上りつめた。日本は「ジャパン・アズ・ナンバーズリー」の時代が到来した。環太平洋のパワーシフトは3国の関係をどう変えるのか。

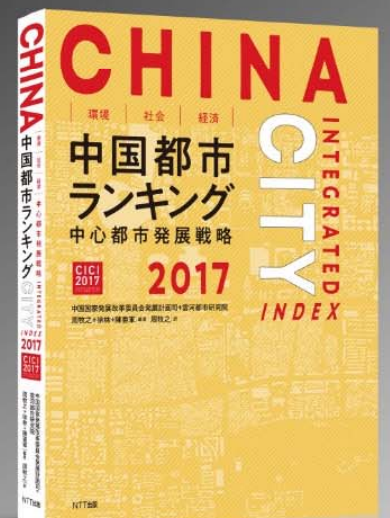
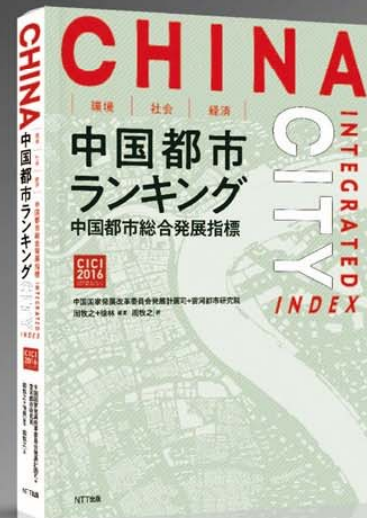
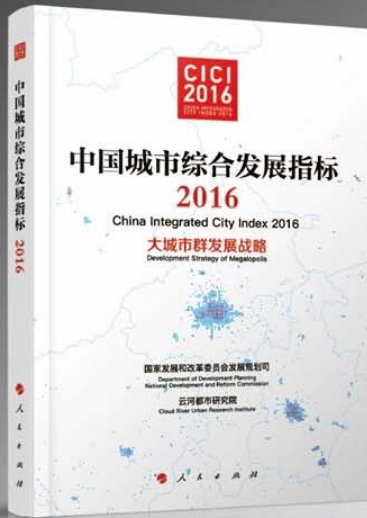
エズラ 中国が世界第2位の経済大国に上りつめた。日本は「ジャパン・アズ・ナンバーズリー」の時代が到来した。環太平洋のパワーシフトは3国の関係をどう変えるのか。

トバイアス 中国が世界第2位の経済大国に上りつめた。日本は「ジャパン・アズ・ナンバーズリー」の時代が到来した。環太平洋のパワーシフトは3国の関係をどう変えるのか。

エズラ 中国が世界第2位の経済大国に上りつめた。日本は「ジャパン・アズ・ナンバーズリー」の時代が到来した。環太平洋のパワーシフトは3国の関係をどう変えるのか。

トバイアス 中国が世界第2位の経済大国に上りつめた。日本は「ジャパン・アズ・ナンバーズリー」の時代が到来した。環太平洋のパワーシフトは3国の関係をどう変えるのか。

中国都市総合発展指標



China Integrated City Index

中国都市総合発展指標・プロジェクトメンバー

中国都市総合発展指標専門家委員長



周牧之
東京経済大学教授



徐林
中米グリーンファンド
会長



陳垚軍
中国国家発展改革委員会
発展計画司司長



楊偉民
中国共産党中央財經領導
小組弁公室元副主任

首席専門家委員

専門家委員(アルファベット順)



杜平
中国第13次5カ年計画
専門家委員会秘書長
中国国家信息中心元常務
副主任



南川秀樹
日本環境衛生センター
理事長
元環境省事務次官



大西隆
豊橋技術科学大学学長、
日本学術会議元会長、
東京大学名誉教授



武内和彦
東京大学国際高等研究所サ
ステナビリティ学連携研究
機構機構長・特任教授
中央環境審議会委員長
国際連合大学元上級副学長



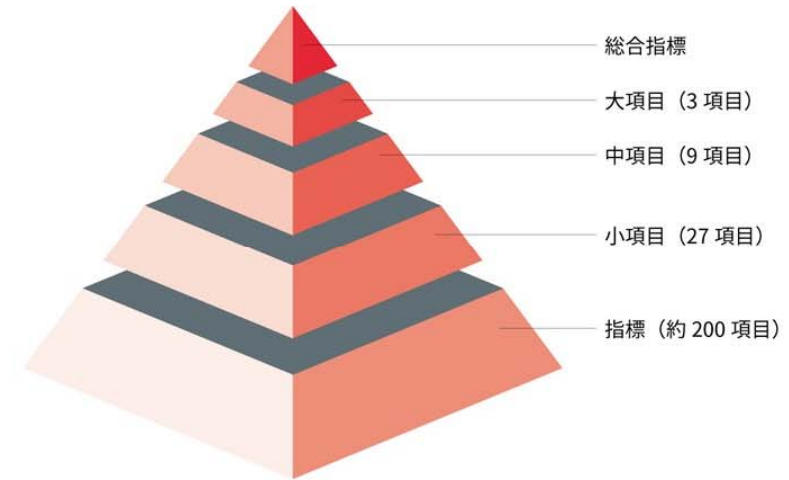
横山禎徳
東京大学EMP特任教授、
マッキンゼー元東京支社
社長

- | | |
|-------------|----------------------|
| 胡存智 | 中国国土資源部(省)元副部長(副大臣) |
| 李昕 | 中国科学院教授、北京市政協副秘書長 |
| 穆荣平 | 中国科学創新発展研究中心主任 |
| 明曉東 | 中国駐日本国大使館公使参事官 |
| 山本和彦 | 元森ビル都市企画代表取締役社長 |
| 岳修虎 | 中国国家発展和改革委員会価格司司長 |
| 張仲梁 | 中国国家統計局社会科学技術文化産業司司長 |
| 周其仁 | 北京大学教授 |
| 周南 | 中国国家発展改革委員会発展計画司副司長 |

〈中国都市総合発展指標〉の構造

中国都市総合発展指標
China Integrated City Index

大項目	中項目	小項目
環境 Environment	自然生態 Natural Ecology	水土賦存 Soil and Water Condition 気候条件 Climate Condition 自然災害 Natural Disaster
	環境品質 Environmental Quality	汚染負荷 Pollution Load 環境努力 Environmental Protection Effort 資源効率 Resource Efficiency
	空間構造 Spatial Structure	コンパクトシティ Compact City 交通ネットワーク Transportation Network 都市インフラ Urban Facilities
社会 Society	生活品質 Quality of Life	居住環境 Residential Environment 消費水準 Level of Consumption 生活サービス Life Services
	伝承・交流 Inheritance and Exchange	歴史遺産 Historical Relics 文化施設 Cultural Sites 人的交流 Personal Exchange
	社会ガバナンス Social Governance	人口資質 Quality of Residents 社会秩序 Social Order 社会マネジメント Social Management
経済 Economy	経済品質 Quality of Economic Development	経済規模 Economic Aggregate 経済構造 Economic Structure 経済効率 Economic Efficiency
	発展活力 Dynamic Development	ビジネス環境 Business Environment 開放度 Openness イノベーション・起業 Innovation and Entrepreneurship
	都市影響 Urban Influence	都市農村共生 Urban and Rural Integration 広域インフラ Wide-area Facilities 広域輻射力 Wide-area Influence



〈地級市以上全298都市をカバー〉

600項目以上のデータを用いて

200弱の指標を設定

統計データ、GISデータ、ビッグデータ

- 600項目以上のデータ、200弱の指標、環境・経済・社会の3つの軸
- 3階層構造（3×3×3構造）にまとめ、立体・統合的に分析

出典：『環境・社会・経済 中国都市ランキング2017』（NTT出版）

2000 - 2016年中国経済 & 都市化各基本指標①

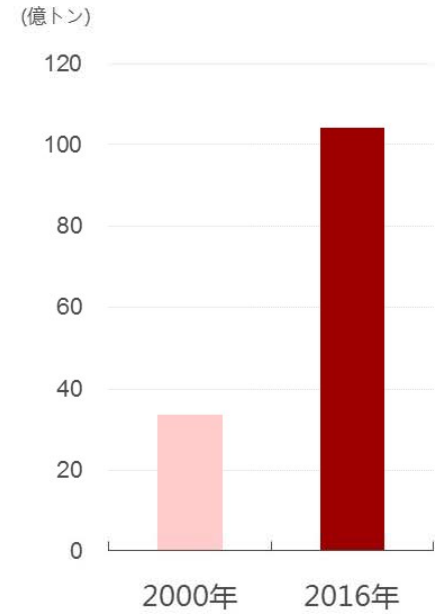
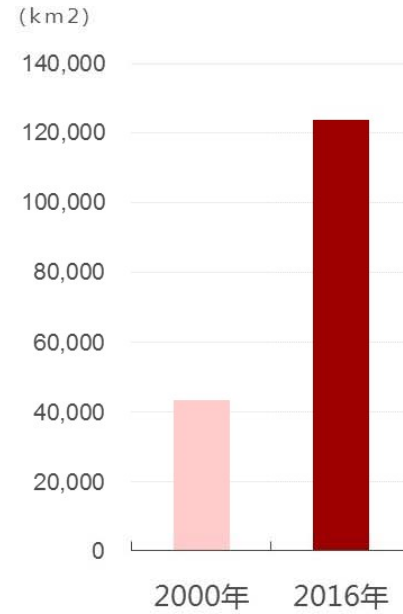
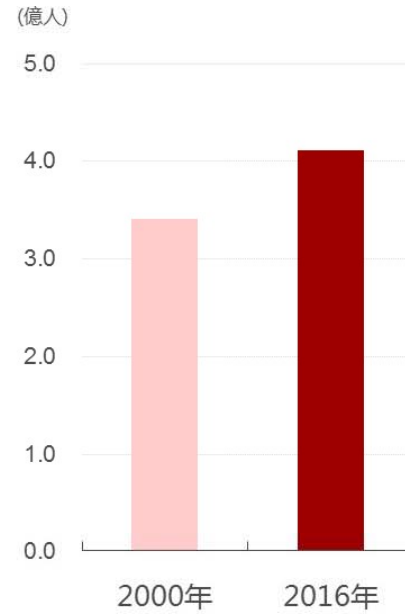
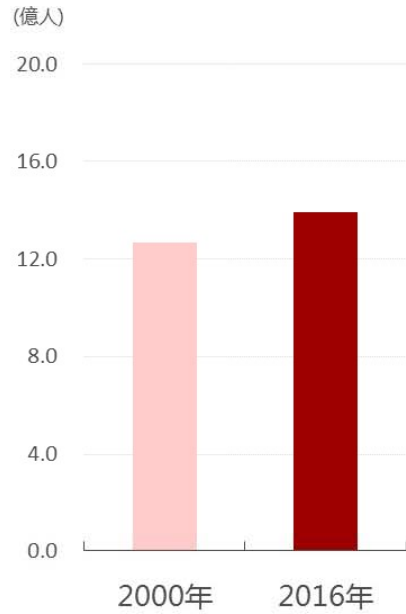
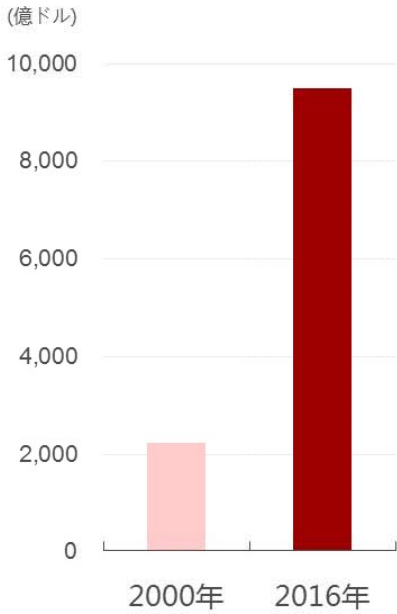
約4.3倍

約1.1倍

約1.2倍

約2.8倍

約3.1倍



実質GDP

総人口

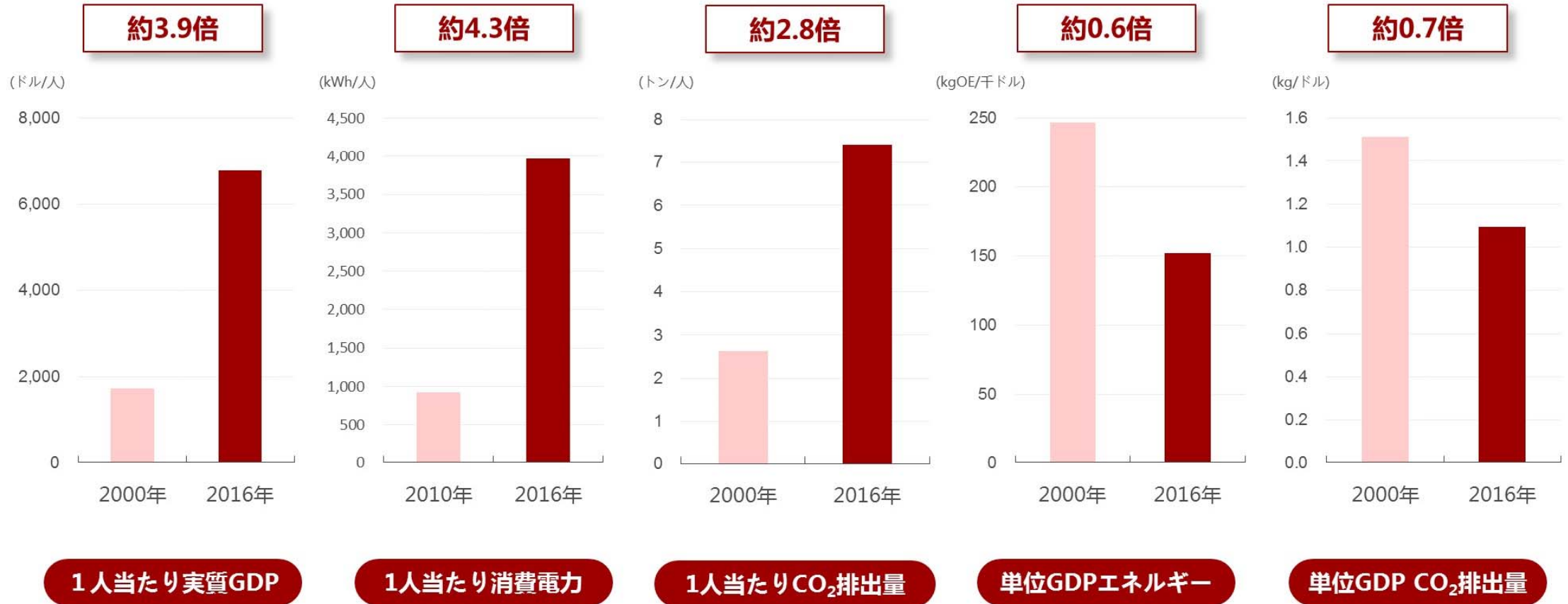
DID人口

市街地面積

CO₂排出量

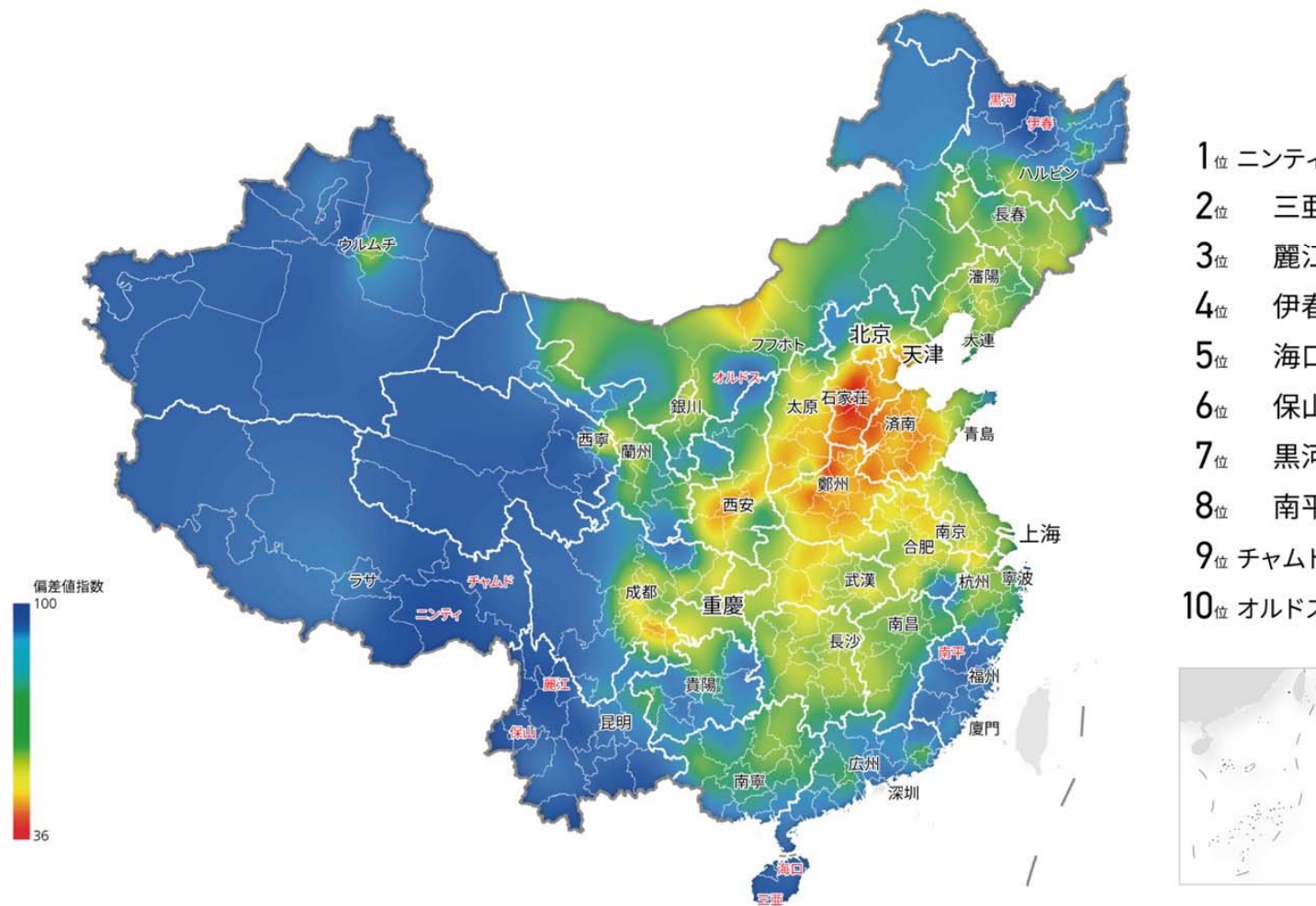
出典：『中国都市総合発展指標2018』より雲河都市研究院作成

2000 - 2016年中国経済 & 都市化各基本指標②



出典：『中国都市総合発展指標2018』より雲河都市研究院作成

中国全土・PM_{2.5}指数



出典：『環境・社会・経済 中国都市ランキング2017』（NTT出版）

TKU
120
CHALLENGE 2020
SINCE 1900

東京経済大学 創立120周年記念事業

「交流経済」 × 「地域循環共生圏」

— 都市発展のニューパラダイム —

2019年 1月26日(土)

定員 250名
参加無料
事前申込優先

時間/フォーラム 13:30~17:30 (開場 13:00 会費: 無料)
懇親会 17:45~19:30 (別途参加費: 3,000円)

場所/東京経済大学 国分寺キャンパス大倉喜八郎 進一層館1Fホール (地図裏面)
(東京都選定歴史的建造物)

下記ウェブサイトまたはメールからお申し込み頂けます

お申し込み
フォーラム申し込みフォーム
: URL: <http://byn.vc/dqxsy>
メール: info.symposium.tku@gmail.com

Mail



Web



問い合わせ先: 東京経済大学・地域連携センター
〒185-0021 東京都国分寺市南町 1-7-34 東京経済大学 tel.042-328-7950

企画責任/周牧之(経済学部教授)、尾崎寛直(経済学部准教授)

主催/東京経済大学

TKU
120
SINCE 1900

「交流経済」×「地域循環共生圏」 Program

(予定、敬称略)

情報革命、グローバル化そして地球規模の環境危機が、経済発展のパラダイムシフトを求めている。日本ではかつてない規模で多くの外国人が訪れる時代となった。また、循環共生型の社会を目指す機運も高まっている。急成長する中国でも世界との人的交流の拡大や、環境問題への取り組みの強化などの動きが見られる。このフォーラムでは、日中両国の政策当事者や有識者を招き、「交流経済」、「地域循環共生圏」をキーワードに、新しい成長モデルを議論する。

13:30 ~ 13:45	開会挨拶
	岡本 英男 東京経済大学学長 森本 英香 環境事務次官

13:45 ~ 14:15	基調講演
	楊 偉民 中国人民政治協商会議常務委員、中国共産党中央財經領導小組辦公室元副主任 中井 徳太郎 環境省総合環境政策統括官

14:20 ~ 15:50	セッション1:「交流経済」とは～インバウンド 3000万人のもたらすインパクト
	年間 3000万人に及ぶ海外からの人的交流は、わが国において新たな地域発展の可能性を育むとともに、海外と日本との間のセーフティネットの基盤をも創出すると考えられる。このセッションでは、「交流経済」が地域にもたらすインパクトとその活かし方を議論する。

パネリスト	邱 曉華 マカオ都市大学経済研究所所長、中国国家統計局元局長
	前田 泰宏 中小企業庁次長
	小手川 大助 キヤノングローバル戦略研究所研究主幹、IMF 元日本代表理事

司会	周 牧之 東京経済大学教授
----	---------------

16:00 ~ 17:30	セッション2:大都市圏から新しい「成長」のモデルを創り出す
	人間の活動に伴う地球環境の悪化が深刻化する中、環境・経済・社会の統合的な向上を目指す新しい成長モデルが問われている。このセッションでは大都市圏での「地域循環共生圏」確立の可能性を探る。

パネリスト	張 仲梁 南開大学教授、中国国家統計局社会科学技術文化産業司元司长
	和田 篤也 環境省大臣官房政策立案総括審議官
	小林 一美 横浜市副市長

司会	尾崎 寛直 東京経済大学准教授
----	-----------------

総合司会
関口 和代 東京経済大学教授





CLOUD RIVER

www.icloudriver.com